

31034 マタernalヘルスと看護 a、b Maternal Health and Nursing			3 年次～ 前期 2 単位
担当者	小松 美穂子／坂間 伊津美／渋谷 えみ	履修可能学科	N 必
		関 連 資 格	看護 (N)
サブタイトル	周産期（妊娠・分娩・産褥・新生児期）の母子と家族への看護を学ぶ。		
授業内容 ・ ねらい	周産期とは、妊娠・分娩を中心とした一時期である。この時期は、女性が様々な心身の変化を経験し、異常や危機を生じる可能性を常に含んでいるため、vulnerable periodとして位置づけられている。さらに、家族としても発達する重要な時であり、母子はもとより家族全体の健康に向けた関わりが必要となる。 講義や演習を通して、正常な周産期における母子とその家族の身体・心理・社会的適応過程と、その過程をより高い健康レベルに支える看護について学習する。また、正常な過程からの逸脱について学び、逸脱予防のための看護、異常時の対応を学習する。 この授業を履修することで、1) 周産期における①母子の身体・心理・社会的変化と適応過程、②生じやすい疾患、③家族の変化と発達に関する知識を習得し、2) 周産期看護ケアの基礎を身につけることを目標としている。		
授業計画	1. 妊娠期の看護(1): 母体の変化、胎児の成長発達 2. 妊娠期の看護(2): 妊婦健康診査と健康教育 3. 妊娠期の看護(3): 分娩準備教育 4. 妊娠期におけるしやすい異常(1) 5. 妊娠期におけるしやすい異常(2) 6. 分娩期の看護(1): 分娩の経過と母児の適応 7. 分娩期の看護(2): 産婦と家族中心の分娩ケア 8. 分娩期におけるしやすい異常 9. 産褥期の看護(1): 退行性/進行性変化 10. 産褥期の看護(2): セルフケアを促す看護 11. 産褥期の看護(3): 褥婦と家族の心理社会的変化 12. 産褥期の看護(4): 家族計画 13. 産褥期におけるしやすい異常 14. 新生児期の看護(1): 子宮外生活への適応と看護 15. 新生児期の看護(2): 母子相互作用 16. 母性看護と看護過程演習(1) 17. 母性看護と看護過程演習(2) 18. 母性看護と看護過程演習(3) 19. 母性看護と看護過程演習(4) 20. 産褥期の健康教育 グループワーク(1) 21. 産褥期の健康教育 グループワーク(2) 22. 産褥期の健康教育 グループワーク(3) 23. 産褥期の健康教育 グループワーク(4) 24. 周産期看護ケア演習(1): 妊婦診察 25. 周産期看護ケア演習(2): アロママッサージ 26. 周産期看護ケア演習(3): 授乳介助 27. 周産期看護ケア演習(4): 新生児の観察 28. 周産期看護ケア演習(5): 沐浴 29. 帝王切開を受ける女性の看護 30. 周産期にある母子と家族への看護 まとめ		
教科書 参考書	教) 『系統看護学講座専門25 母性看護学各論』(医学書院) 参) 『NEWエッセンシャル産科学・婦人科学』(医歯薬出版)、『新生児学入門』(医学書院)、他は適宜紹介		
評価方法	試験、講義や演習への積極性、レポートなどを総合的に評価する。		
事前準備学習 履修条件等	「急性期看護論Ⅰ」で学習した女性生殖器の構造と性周期、妊娠・分娩・新生児の生理は本科目の基礎となる内容です。必ず復習してから臨んでください。また日々の予習や事前課題にも積極的に取り組んでください。		